

1.長期成長ビジョン

従業員・お客様・工場が共に成長し、他社に真似できない技術力で石英ガラスやシリコン等の硬質脆性素材の加工において日本をリードする受託メーカーとなり、持続的な成長を実現する

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

- 政府の半導体・デジタル産業戦略に基づき、国内の半導体製造拠点整備が相次いでいる。当社が加工を手掛けるシリコンや石英ガラスは、半導体製造装置において欠かせない製品であり、大きな需要拡大が見込まれており、取引先からの引合いも増加傾向にある。
- 当社では、こうした外部環境の変化や経営課題を解決し、企業としての新たなステージへとステップアップするため、2023年に10年ビジョンを策定。

<10年ビジョン>

従業員・お客様・工場が共に成長し、他社にまねできない技術力で日本をリードする硬質脆性素材の受託メーカーになる

<本事業の取組み>

- 10年ビジョンを実現するため、本事業を通じて、工場新築、廃水処理設備の機能強化、自動加工機の導入等の大規模成長投資を実施し、生産能力の拡充や省力化による大幅な生産性向上に取組む。
- 本事業の実施により、売上高35億円、営業利益14億円の達成を実現し、持続的な成長を遂げていく。また、成長の源泉である従業員に対して、年率平均6.5%の高い賃上げを実現する。

売上成長目標

- 2029年度までに会社全体の売上高成長率195%
- 2029年度までに会社全体の売上高増加額23億円
- 2023年度売上高11.8億円 → 2029年度売上高35億円
- 会社全体の賃上げ目標**
- 3.94% (直近事業年度～基準年度)
- 6.39% (基準年度～事業化報告3年目)

外発的動機

<政府による半導体・デジタル産業戦略>

- ◆日本政府は「半導体・デジタル産業戦略」に基づき、国内の半導体製造拠点整備に多額の予算を投じることとしており、国内の半導体製造拠点の整備が進んでいる。

<半導体のニーズ・需要>

- ◆5G、IoT化の進展や、それに伴うデータセンター能力拡張の必要性など、半導体の潜在需要は引き続き強く、加えて、自動車のEV化に伴い、自動車に搭載される半導体の点数は増大しており、これらの領域における半導体需要も高まっている。

<取引先からの引合い増加>

- ◆半導体需要の高まりを受け、取引先から増産要請の引合いが増加しており、生産体制を強化していく必要がある。

内発的動機

<生産キャパシティの限界>

- ◆主力の「形状加工、研磨加工」の増産対応には、加工設備の増強や研磨工程での大量に消費する給水受水設備・廃水処理設備の機能強化を行っていく必要がある。

<経営課題の解決（省人化・自動化対応）>

- ◆加工や情報管理において人の手に頼る工程・業務が多く、企業としてステップアップするためには、製造工程の自動化・情報管理のシステム化を行っていく必要がある。

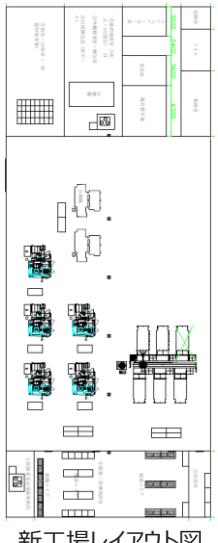
<職場環境の改善、福利厚生の充実>

- ◆安定的な新規採用、雇用の維持を実現するためには、職場環境の改善、福利厚生の充実、給与待遇の改善に取組んでいく必要がある。

2.補助事業の概要

**需要が拡大する半導体製造装置向け、硬質脆性素材加工の生産体制強化を図る
売上拡大・省力化により、労働生産性年平均+26.09%、賃上げ年平均+6.5%を実現する**

補助事業の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転やロボット等の新技術には半導体が多く利用され、今後も半導体の需要拡大が予測されており、日本国内においても半導体製造拠点が次々に整備されている。 一方、当社では生産キャパシティが不足しており、生産体制に課題を有している。 本事業を通じて、製造スペースを拡充するとともに、効率的な生産体制を構築することにより、市場が拡大する半導体製造装置需要を取り込み、飛躍的な成長を実現していく。 	事業費(補助額)	16億円 (5.0億円)
------------	---	----------	-----------------

設備投資の内容	<p><事業の内容> 群馬県安中市内に新たに工場を建設し、最新鋭の硬質脆性素材加工機等の加工設備を導入する。</p> <p>(1) 建物費 ①本社第2工場 金額：664,220千円 ②廃水処理設備工事 金額：175,750千円</p> <p>(2) 機械装置費 導入設備：グラインディングセンタ、純水設備、自動グライティングセンタ、遠心分離機 ミストコレクター、ワイヤーソー、くりぬき加工機 合計：357,944千円（税抜）</p> <p><労働生産性の向上> - 形状加工の生産キャパシティを現状比2.5倍へ拡充 - 自動化ラインの導入による省人化、夜間の稼働を実現 - 廃水処理設備の機能強化による研磨加工の生産キャパシティを現状比2.5倍へ拡充 - 加工難易度が高い付加価値のある製品に特化した受注これらの取組みにより、労働生産性の向上に取組んでいく。</p>	 <p>岡本工作機械製作所製 グライディングセンタ</p>  <p>新工場レイアウト図</p>
---------	---	--

目標値	項目	2026年度 (基準年度)	2029年度 (基準年度+3年後)
	労働生産性 (単位：万円/人)	1,049万円	2,104万円 (年平均上昇率+26.1%)
	従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	489万円	590万円 (年平均上昇率+6.5%)
	役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率+6.0%)
	補助事業に係る従業員数 (単位：人)	94人	100人